

尾形昭一 せきがひ ソ聯研究家。明治二十四年二月二十八日熊本縣生れ（一九〇一）。大正十二年東京帝國大學法學部政治學科卒。外務省入省、パリを経てモスクワの大使館勤務十年、次ぐカムチャツカ公領事、新京大使館のソ聯關係事務擔當、戰時中は本省調査司のソ聯調査課長、昭和二十一年調査司長を最後に退官。爾後とソ聯研究に従事。世界經濟研究所常務理事、日ソ親善協會副會長。

著書『ソ連二十話』（昭和二十四年一月十五日生活社）、『講稿』その後の『日本』（合著・科學者平和問題懇話會、昭和二十五年七月十日東京大學協同組合出版部）、『共產主義への50の疑問』（合著・理論社編集部編、昭和二十六年十月十五日理論社）等。

